

かいほつ

52号

題字 城南小学校
6年 杉田 達哉

岡崎市現職教育委員会

特殊教育部会

平成17年 3月1日 発行



美川ブロック 「子どもと親の集い」交流会



子供たちに支えられて

六ツ美西部小学校長

渡辺勝英

特殊教育に携わって、三十年近くの歳月が過ぎようとしている。特殊学級を初めて担任した時の戸惑い、驚き、そして純真な子供たちから多くのことを教えられた感動は、嘗々と心の中で光り輝いている。個々の能力や特性に応じた指導に苦労したこと、作業学習で生徒たちと共に汗を流した日々の実習のことなどは、以後の長い教員生活を支えてくれた礎となっている。読みあさった専門書の山が高くなるにつれ、戸惑いなく子供たちと共に歩き出すことができるようになっていたように思う。しかし、いつも目の前の子供たちのことで頭がいっぱいな毎日であった。

算数が嫌いで、計算する時などは、顔色が変わってしまうA君。計算をするということが、A君にとってはとても苦痛になってしまっている。計算しようとする気持ちよりも「わかんないよ!」「したくないよ!」という気持ちの方が先行してしまい、解ける問題であってもやるうとしない。そんなA君が、自ら計算してしまうことがある。トランプやすごろくゲームで、得点を競う遊びをしている時などは、目を輝かして勝敗の結果を暗算で素早く出してしまうのである。それは、結果を知りたいというA君の気持ちがそうさせたのである。

この事例は、子供たち自身が必要性を感じ、興味・関心を持って取り組む状況づくりをしていくことの大切さを教えてくれている。

特殊学級においては、一人一人障害の異なる子供に対して、「その子に合った学び方がある」ことを信じ、その方法を探し、結果が出るまで、「その子」の学びに責任を持たなくてはならないのである。その子供のためのカリキュラムを作り、その子供にあった指導を、愛情を込めてやらなくては、特殊学級は成り立たない。

私が定年までこの道が続けてこられたのは、あの時の子供たちとの出会いがあったからである。みんな、ありがとう。

葵・城北ブロック 十月十五日

井田小 六年 永田 香葉

広はた小学校の体育かんで、学校のし
ようかいをしました。わたしは、どんぐ
りクッキーの作り方をせつめいしまし
た。はずかしかったです。

つぎは、ゲームランドです。井田小の
お店は、どんぐりおもちやです。たくさ
んの子がきました。クリアしたら、カー
ドにスタンプをおしました。あとから、
いろいろな学校のお店に行きました。ポ
ウリングやまるとあて、ゴルフをしま
した。さかなつりが、一ばんおもしろか
つたです。じやんけんゲームもしました。
外でみんなとおべんとどうを食べたか
ら、あそびました。交りゆう会、たのし
かったです。また、あそびたいです。



▲「サメがつかれた！」 井田小 つげとしひこ

甲山ブロック 十二月七日

楳石小 三年 高橋 憲史



▲「トイストーリー大好き」 楳石小 高橋憲史

こう山ブロックこうりゆう会で、ぼく
は、しかいをやりました。「さいしよに、
かじお校長先生、おねがいします。」と
言いました。上手に言えました。先生が
ほめてくれました。

こうりゆう会では、ひよっこりひよ
うたん島のリズム体操そらやふうせんパ
レ―やおかしつりをやりました。
一ばん楽しかったのは、おかしつりで
した。ぼくは、トイストーリーのおかし
をつりたいと思いました。トイストー
リーのおかしをつることができました。な
かには、メロンクリームのおかしとお
もちやが入っていました。うれしかったです。

竜南ブロック 十月二十九日

竜南中 三年 神田 聖史

ブロック交流会をやりました。土地小
の子と緑丘小の子といっしょにやりま
した。初めに体操をやりました。そのあ
とつなひきをやりました。手が赤くなっ
て、痛くなりました。二人三脚をやりま
した。一回やばかったけど、あとはなれ
てきました。玉入れをやりました。ぼく
たち中学三年生がかごを背負って逃げ
まわり、みんなが玉を入れました。一回
目は負けてしまいました。最後はしつぽ
取りをやりました。一回目は取られてし
まいました。しかし、二回目からは生き
残りしました。しつぽを取ることもでき
ました。おもしろかったです。楽しかった
です。ありがとうございました。



▲「玉入れ 逃げろ中学生」 竜南中 神田聖史

映画鑑賞会
あいかんげい

平成二年より、十五年間にわたり映画
鑑賞会が開かれています。ツイエンタ
ーテイメントコーポレーション様のこ
厚意により、毎年無料招待をいただい
ている会です。子供たちに合った映画を選
定し、各学校の行事などの実情にも配慮
をいただき、楽しい会になっていまし
た。

この会は、諸事情により今年で最後に
なりました。これまでのこ厚意に感謝す
るとともに、この会を契機にさまざまな
学習が展開できたことにもお礼を申し
上げたいと思います。

楽しい絵をたくさん描くことができ
ました。お礼の手紙に心を込めることも
できました。映画館への移動は、交通機
関利用の学習になりました。学級で共通
の話題ができ
ました。買い物
学習をすること
もできました。
それぞれの経験
の中で子供の成
長を見つけれ
ることができ
ました。



「ハリーポッター」竜南中 松原有紗

ふたごの物語

ふたごの物語



美川ブロック 十一月二日

美合小 六年 本田 麻衣

わたしは司会をやりました。みんなの
まえで話しました。どきどきしました。
わたしはオリエンテーリングをしました
た。おかしを見つけてました。たのしかっ
たです。

とんじろを作りました。わたしはとう
ふを切りました。おかあさんと切りました。
た。だいこんも切りました。わたしはだ
いこんを大きいなべに入れました。おな
べのなかはぐつぐつにえています。と
んじろができました。おいしそうです。
とんじろを飲みました。おいしかったです。

交流会は楽しかったです。来年、中学
生になってもやりたいです。

六ツ美ブロック 十二月二日

六中小 四年 男子

今日ブロック交流会がありました。
来た学校は、城南小、北郷小、南郷小、
西部小、北中学校、六ツ美中学校です。
ぼくは、まいちゃんといっしょにやり
ました。ぼくは、前半は仕事で後半はお
客さんです。ぼくの仕事はシールをはる
ことです。あと、つりざおをわたすこと
です。

お客さんのとき一番目はあきかんつ
みです。二番目にわなげです。三番目に
ポトルボウリングです。四番目に金魚す
くいです。五番目にぼくのお店にいきま
した。

じゃんけん列車のチャンピオンにな
ってうれしかったです。



お母さんと一緒にゲームをしたよ!

福岡・南ブロック 十二月二十四日

福岡小 五年 男子



福岡・南ブロック 十二月二十四日

福岡小 五年 男子

十二月二十四日にもちつきをしまし
た。
おもちをべったんべったんつきまし
た。きねは、おもたかったです。十回く
らいつきました。みんなでじゅん番につ
きました。

おもちがつきました。ポテトチップス
をこなこなにしておもちにつけました。
ポテトもちができました。ポテトもちを
食べました。しょうゆもちときなこもち
も食べました。ぼくは、ポテトもちがい
ちばんすきです。おもちはおいしかった
です。

もちつきこうりゆう会は楽しかった
です。またやりたいです。



たくさんのうれしかったこと

大門小 六年 加藤 友樹

小学校でうれしかったことは、防火ボ
スターで市長賞になったことです。プー
ルで百メートルおよげたときもすごく
うれしかったです。一番うれしかったの
は、さきちゃんやさしくしてくれたこ
とです。しかせんべいをいっしょに作り
ました。京都えきの長いエレベーター
も、手をつないでのりました。

もうすぐ大門小とおわかれです。少し
さみしいです。でも中学校でさきちゃん
みたいな友だちを見つかけたいです。

楽しかった中学校

矢作北中 三年 川添 力也

入学したと思ったら、もう三年間が過
ぎて卒業の日が近くなってきました。

思い出しても楽しい日ばかりだっ
たと思います。新しいお友達ができ、バ
ンコン部の活動は、とても好きでした。
山の生活、スキー、修学旅行など、色々
な思い出があります。特にハンドベルで
は、老人ホームにも行きました。先生や
十一組の皆で自転車に乗って、老人ホー
ムへハンドベルで曲を演奏しに行きま
した。高校に行っても、時々矢作北中に遊
びにきたいと思っています。



「みんな一緒にいい！」

矢作中学校長

鈴木 忍

日本では落第の制度が定着しなかった。勉強ができてできなかったも、他の子と違う扱いを受けることを好まない国民性に起因しているものと考えられる。昔から「となり百姓」という言葉がある。それほど特別なことをしなくても、となりの人と同じようにやっていたら、補え付けも収穫も時期を外すことなくやる事ができる。人よりたくさん収穫しようなどと考え、早めに作業に取り掛かれば、一斉に害虫の集中攻撃を受け、田畑が丸裸にされたりするなどが起る。皆と一緒に、皆と一緒が一番。こんな意識が何百年・何千年の間に国民の間に醸成されてきた。

さて、この二・三年、特別支援教育の実施に向けて、条件整備が急ピッチに進められている。
特殊教育諸学校が地域の特殊教育センターとして機能し、現在在籍している重度の児童生徒を含め、地域の比較的重い生徒のサポートをしていくという方向が打ち出されている。このことは、最近の保護者のニーズやインクルージョンの方向としては歓迎すべきことと考える。

しかし、今まで障害児教育の対象外に位置づけられていた高機能自閉症や学習障害、ADHDなどの児童生徒が支援教育の対象として挙げられることになった。今後、そのような児童生徒に「特別な支援」をしていくことになる。今までは「ちよつと変わった子だね」とか「ずいぶん落ち着きのない子だねえ」といわれていた程度の子供に、軽度にしても「障害があるから」と「支援教育」を勧めていくことになる。よほど慎重に取り組んでいかないと問題が起きると思われる。大げさに言うとう、日本人の「障害(者)観」に大きく関わってくることになる。

「みんな一緒にいい」という今までの考えから脱皮し、「みんなちがって、みんないい」が神の世界だけの言葉にとどまるのではなく、すべての人の人間観になるためにも、今後、特別支援教育を積極的に進めていきたいものとする。

子どもがむすび

相談員 本多 末子

各学校の特殊学級のみならず、通常学級の先生方も相談室に対する関心が高まり、「ご協力をいただきたい」とおられます。そのため、年々相談数が増え、感謝いたしております。

相談の対象者は新学齢児が中心ではありますが、在学児や未就学児の相談にも応じております。

未就学児については、発達の遅れや言語の未発達、新学齢児については入学に関する事、在学児についてはADHDやアスペルガー症候群などで知的な遅れがなくても情緒が不安定で授業に参加することが困難な児童の相談など、多岐にわたっております。保護者の立場になって相談内容をお聞きするよう、常に心がけております。

今後とも子供たちのためにご理解・ご協力をいただきたく存じます。

中学校の進路

今年度も豊田高等養護学校への志望者が多く、四十八名の定員に対し、七十七名が受験しました。就職希望者にとつての状況は好転の兆しが見られ、職場訪問や実習などの地道な活動が実を結びました。
近年、特殊学級から高校や専門学校への進学を希望する生徒が増え、学力や評価の面での難しい課題が見えています。

今年度の表彰

- ・第二十四回手作り学級新聞コンクール 徳賞 榎岡小 五組
- ・MOA美術展岡崎児童作品展 佳作 榎丘小五年 山本 奥佑
- ・岡崎市防火作品コンクール ポスターの部 大岡小六年 加藤 友望
- ・岡崎市家庭の日コンクール ポスターの部 大岡小六年 鈴木 康太
- ・岡崎市読書感想文コンクール 最優秀賞 大岡小六年 鈴木 康太
- ・岡崎市読書感想文コンクール 教育委員会賞 大岡小六年 鈴木 康太

校	合計	
	男	女
豊田高等養護学校	1	0
豊川高等養護学校	2	1
豊田高等養護学校	5	2
豊川高等養護学校	2	2
安城養護学校	4	3
附属養護学校	1	0
進路希望先	1	0
計	17	3

(平成17年2月22日現在)